

公共施設等総合管理計画 個別方針編（案）の市民説明会の開催報告

①開催概要

高野口会場	日時	H28年10月23日（日） 午前10時00分～午前11時20分
	場所	高野口地区公民館 1階 研修室1・2
	参加人数	39名
橋本会場	日時	H28年10月23日（日） 午後2時00分～午後3時30分
	場所	教育文化会館 3階 第1研修室
	参加人数	37名

②質疑まとめ

分類	主な質問	主な回答
施設の「移譲」のイメージ	<ul style="list-style-type: none"> 「移譲」を行うと、施設の維持・管理や処分に関してどのようなことは変わるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 「移譲」とは、建物の名義を市から地元（自治会）へ変更することである。 土地は市の所有のままとする。 修繕や更新、処分に関しては市の補助金を活用しながら、各自治会で行ってもらうことになる。
	<ul style="list-style-type: none"> 登記するためには、法人格を取得する必要がある。財政面や区長が交代する度に登記のし直しの必要性などから、法人格の取得は難しいように感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> 具体的なことについては、今後、担当課と地元で協議していくことになる。
	<ul style="list-style-type: none"> 集会所について移譲する前に、耐震化等については市で行ってもらえるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 多くある公共施設の中で、一定規模以上の施設や不特定多数の人が利用する施設等を優先的に耐震化してきたことから、現時点で、集会所は耐震化を完了していない。 旧橋本市には各自治会で所有する集会所も多数あり、市が所有する集会所だけを耐震化するという点について議論もあるため、集会所の耐震化についてはまだ方針が出ていないので耐震化の予定はない。
	<ul style="list-style-type: none"> 移譲を断ることもできるのか。 区長会において、地元が移譲を断った場合は施設を取り壊して更地にするということを聞いたが、それは乱暴ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 強制的に移譲することは出来ないため、協議が不成立となることも考えられる。 平成36年を目標に地元と協議を行っていくが、移譲が不成立の場合すぐに取り壊すということではなく、次の10年間での方針を考えていく。 移譲した地区と移譲しなかった地区での整合は図っていく必要がある。

分類	主な質問	主な回答	
施設の「廃止」のイメージ	<ul style="list-style-type: none"> 元向島保育園は現在、市の許可を得て区で使用しているが、その部分についても「廃止」となるのか。 災害住宅は10年以上経ち、居住者の所有物となっている部分もあるが、「廃止」となった場合はどうなるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 「廃止」を行うのは市が所有・管理している部分だけである。 	
	<ul style="list-style-type: none"> 高野口浄水場が「廃止」となっているが、そうすると高野口の住民は水が飲めなくなってしまうのではないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 浄水場については、橋本との送水管が繋がりが、施設が必要なくなった時点で廃止である。繋がらない限りは、施設を廃止することはない。 	
施設の「統合」のイメージ (市営住宅)	<ul style="list-style-type: none"> 市営住宅における「統合」のイメージを教えて欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 1つの団地の中での棟の統合のことである。 	
	<ul style="list-style-type: none"> 1つの団地内での「統合」となれば、その土地での建替えなども考えているのか、空いている部屋を活用していくような形なのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 団地についての方針はまだ決まっていない。 	
施設の管理方針の決定	全体	<ul style="list-style-type: none"> 過去の委員会議事録を見ると、施設の管理方針の決定にあたり、集会所等について、地元への意見聴取を今後していくといった趣旨のことも書かれているが、そのような意見聴取を受けた覚えはない。 	<ul style="list-style-type: none"> 意見聴取としては、集会所については行っていない。 文化施設やスポーツレクリエーション施設等の公共性の高い施設についてはアンケート調査を実施した。
		<ul style="list-style-type: none"> この地域にはお年寄が多く、施設が集約化されてしまうと、距離が遠くなり、施設利用ができなくなってしまう。同じ集会所であっても、それぞれに性格がある。安心安全のまちづくりをうたっているのであれば、そこまで目配りをして欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 比較的大きな施設を対象にアンケートを行った。ご指摘頂いたように地域の実情等に配慮しきれなかった点についてはお詫び申し上げます。
	個別	<ul style="list-style-type: none"> 市民系の施設等は、旧橋本市と比較すると、高野口地区は、施設数は多いが、面積は小さい。このような現状の中で、今後、さらに高野口地区内の減らすという方針をたてているというのは、高野口地区を縮小していくような意図が感じられる。 	<ul style="list-style-type: none"> 高野口地区の文化施設を縮小させていく意図はない。 例えば、給食センターについては、施設の総面積を減らしていくことを目的に、オークワに隣接する市有の土地に移転する予定である。財源についても、統合により総延床面積を減らすと財政的にも非常に有利という考えからこのような方針をたてている。
個別	<ul style="list-style-type: none"> 紀見北中と紀見東中が統合するという噂を聞いたことがあるが、今日の資料では「保持」となっているが、統合はないと考えてよいか。 	<ul style="list-style-type: none"> H36までは統合の予定はないと、教育委員会からも聞いている。 	

分類	主な質問	主な回答
施設の削減目標の設定	<ul style="list-style-type: none"> 目標では、人口一人当りの施設延床面積だけでなく、多核的に検討していく必要があるのではないかと。区の数等についても考慮していく必要があるのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> 区の数等についても考慮していく必要はあると思うが、税収は生産年齢人口の数に大きく左右される。また、交付税についても人口対して出されるのなど“人口”が大きな要因となると考え、このような検討を行ったものである。
施設の削減目標の達成に向けて	<ul style="list-style-type: none"> 各施設の「統合」や「移譲」については、優先順位をつけているのか。 目標設定の根拠となる人口推計は最悪のケースで考えていると思うが、この見込みよりも人口減少が抑えられた場合には、廃止や移譲が必要なくなる施設も出てくると思う。その場合のためにも、優先順位が必要ではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> 順位は特につけていない。「移譲」の施設については、来年度以降、担当課が個別に説明・協議に伺う予定である。 国から交付の地方交付税は、人口に対して交付されるものであり、国勢調査の結果によると5年間で約2,700人減少しているという結果を受け、今年度から3億円減らされることになっている。そのため、公共施設については、このようなことを前提に統廃合等を検討していくことが重要になると考える。
	<ul style="list-style-type: none"> 目標達成に向けて施設類型ごとによいような方針のもと取組みを進めていくのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 本日は提示していないが、基本方針編の中で施設類型ごとの方針を示している。
計画による効果	<ul style="list-style-type: none"> 今後10年間で13.9%の公共施設の延床面積の削減を行うことで、財政面でどれだけの効果が得られると予測しているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 13.9%の施設の削減を実行することで、10年間で約56億円、1年間で5.6億円程度の削減効果を見込んでいる。
計画策定の流れ・今後の計画の進め方	<ul style="list-style-type: none"> 計画は市民に報告をして、策定となるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 本計画については議決を行う必要はないが、議会においても随時報告を行っている。今回の住民説明会以降については、市長決裁や議会報告を経て（案）がとれることになる。
	<ul style="list-style-type: none"> 今日示している施設の方針は、決定事項なのか。 	<ul style="list-style-type: none"> この計画はあくまで市の方針であり、今後、例えば集会所であれば、担当課が自治会に伺い協議を重ねて決めていくことになる。

分類		主な質問	主な回答
その他	計画の策定意義	<ul style="list-style-type: none"> この公共施設等総合管理計画を策定しないと、地方交付税が減額される等のペナルティがあるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 地方交付税等に関するペナルティ等は特にはない。 この計画を策定することで、公共施設の廃統合による適正化を行う際に、優遇措置を受けることができる。
	使用していない施設の管理	<ul style="list-style-type: none"> 応其こども園で一元化され、老朽化した伏原保育園は雑草が多く生えた状態になっている。施設自体はこども課が管理し、道路に関しては都市整備課が管理しているということであれば、早急に対応しなければ、廃止した場合の方が、余計に費用がかかることになってしまうのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的には廃園した箇所については売却する方針としているが、具体的には今後検討を行い、対応していく。
		<ul style="list-style-type: none"> 西部公民館の分館は「保持」となっているが、現在、全然使われておらず雑草も多く生えている。管理、パトロールを徹底して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 施設の適切な管理については、部長連絡調整会議等においても議題としていきたいと考える。
	人口減少への対策	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設を現在の規模で維持していくためにも、人口の減少への対策が必要となると思うが、何か考えていければ教えて欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 企業誘致に力を入れており、33社と新たに操業の協定を結んでおり、そのうち23社程度について既に操業し、地元の雇用創出に繋がっている。若い世帯を呼び込むために、子育て支援や医療費助成等についても充実を図っている。



▲高野口会場



▲橋本会場